



# koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号/電話 0178-44-3866/FAX 0178-43-9077  
<https://kouryo-high-school.com> /Eメール [kouryo@chibagakuen.ac.jp](mailto:kouryo@chibagakuen.ac.jp)



## 体育館改修完了

10月1日(水)、1時間目に体育館の改修工事完了に伴う集会が行われた。全校が集うのは4月の対面式以来となった。初めに、岡本潤子理事長は、前理事長千葉満先生から引き継いだ想いを生徒に伝え、改修内容などの説明と使用に伴う心構えをお話下さった。続いて、校長先生から使用上の注意点や今後の使用について説明、感謝して使うことのお話があった。最後に生徒会長の柄本百絵さん(3年・第三中学校出身)は、改修工事に携わって下さった方々への感謝の想いを伝えた。また、改修した体育館で行う体育や行事が楽しみであるというはやる思いを述べ、「大事に使っていきます」との挨拶でセレモニーは終了した。

10月11日(土)、12日(日)の2日間、八戸工業大学番町サテライトキャンパス「ばんらば」において学校華道花展が行われた。市内で池坊華道を学んでいる学生たちによる花展には、本校と八戸工業大学第

## 合同花展

【三八五流通グループ賞】  
1年 森山 琉(東中学校出身)  
賞をいただけるとは思っていなかったの嬉しかった。入賞者の作品を拝見しましたが、格が違っていると感心しました。構図や背景のぼかし方、全体的に勉強になりました。他の人の作品をなかなか見る機会がないので写真を見るだけでも興奮しました。今年花を撮ったので、来年は八戸公園らしいものをたくさん撮ってまた応募したいです。

第18回八戸公園四季写真展表彰式が10月12日(日)に行われ、写真部の森山琉さんが出席した。森山さんは、八戸公園内の花を雨上がりに撮影した作品を出品し「三八五流通グループ賞」を受賞した。今年の写真展応募者は、52人、119点だった。会場となった八戸公園緑の相談所には多くの方が観覧に訪れていた。写真展は、11月9日(日)までの午前9時から午後4時まで(最終日は午後3時まで)行われている。※毎週月曜日は休館

## 第18回八戸公園四季写真展



## 八戸公園四季写真展



10月16日(木)、一階調理室から出火したとの想定で避難訓練を実施した。生徒たちは避難経路の確認と水消火器を使った消火訓練を行った。消火訓練を指導して下さいました。消防の方々は、「たかが訓練と思わず真剣に取り組むことが大切です。練習しておくと、もしもの場合に必ず役に立ちます。皆さんは今守られる側にいますが、社会に出ると今度は守る側になる人もいます。どんな立場においても落ち着いて命を守る行動ができるようにしておくことが大事です」と講評を述べて下さった。

## 避難訓練実施



二高等学校・附属中学校、八戸高等学校、八戸工業高等専門学校が参加した。初めて外部の花展に参加した小出歩実さん(1年・白銀中学校出身)は「同じ池坊でも講師の先生方によって異なる雰囲気や生け方があり、表現の仕方も個々のセンスが見えたりして勉強になりました。花材は2ヶ月前に発注したのですが、頼んでいたお花が入荷しないといったアクシデントもありました。しかし、届いたお花でイメージ通りに生けることができました。華道歴は浅いですが、他校とも交流できた貴重な経験となりました」と話してくれた。▲小出さんの作品

《第104回全国高等学校サッカー選手権青森県大会》  
○10月20日(土) 向陵 1-0 八工大一  
〈得点〉長谷川 航太(2年・江東区立深川第四中学校出身)  
○10月21日(日) 向陵 3-1 青北  
〈得点〉堀合 佑多(2年・階上町立階上中学校出身) 田所 陽斗(3年・相模原市立田名中学校出身) 長谷川 航太(2年・江東区立深川第四中学校出身)

○10月23日(金) 向陵 0-2 八学光星  
第104回全国高等学校サッカー選手権青森県大会において、本校は2回戦から登場し、八戸工大一高と対戦。1対0で勝利した。続く3回戦は、青森北高と戦い3対1で勝利するも、後半ディフェンダーの末次隼士さん(3年・横浜市立荏田南中学校出身)が怪我で途中交代した。準々決勝の八戸学院光星戦は、怪我で戦線離脱していたフォワードの細越優希さん(3年・第一中学校出身)と末次さんを欠く戦いとなった。当日、サッカー部員たちはベンチに2人のユニフォームを掲げ、いつも以上に気合の入った掛け声を発しピッチに立った。学校では、体育館でパブリックビューイングを行い全校生徒が応援。生徒たちの声援を受け、何度かチャンスが訪れるも、得点には繋がらず敗退、選手権はベスト8に終わった。部長の佐藤 蕾咲さん(3年・南足柄市立足柄台中学校出身)は、「これまで、苦しいサッカーが続いていましたが、部員で何度も話し合い、今大会に臨みました。3年間で一番楽しいサッカーができました。保護者や先生方、OBや全校生徒の皆さんにこれまでたくさん応援していただき、ありがとうございました。ありがとうございます」と感謝の意を述べた。



## サッカー試合結果



## 文化祭ポスター決定

文化祭ポスター展が行われ、各クラスから出そろった6枚の中から今年度のポスターが決定した。全校の投票で選ばれたのは、1年2組神成美空さん(第一中学校出身)の作品。採用されたポスターは、来月15日開催の文化祭に花を添える。



# レッズ・スポーツハロウズ ゴルフコース

1年 間口 雪乃(根城中学校出身)



初めにクラブの持ち方を教えてもらいました。続いて実践でしたが、最初は遠くへ飛ばなかった。練習を続けていると徐々に飛ぶようになり嬉しい気持ちになりました。昼食後は、ゴルフ場のボール拾いをしました。また、シューティングゲームやボールを穴に入れるシューティングも体験しました。最後に、コンテストがありました。先輩方のプレーはさすがと感じました。帰りはスタッフの方からおはぎや飲み物をいただきました。初めてのゴルフ体験は、良い思い出になりました。

1年 黒藤 小太郎(亶理町立横瀬中学校出身)

前回のゴルフ体験では、全く遠くへ飛ばすことができませんでした。今回はコツを覚えてもらったり、自分なりにフォームやボールの高さを調整したりして工夫しました。その結果、メートル以上飛ばすことができて嬉しかったです。遠くに飛んだ時の、ボールをミートした音や手に残る手ごたえがとても気持ち良かったです。自分より遠くに飛ばしている人もいて凄いなと思いました。ゴルフの楽しさにも気づくことができました。来年もゴルフに挑戦してみたいと思いました。



## 【ニアレン賞】

女子の部 3年 柄本 百絵(第三中学校出身)

男子の部 2年 上井 啓人(第二中学校出身)

## 【ドラゴン賞】

女子の部 2年 山本 奈美(三桑中学校出身)

男子の部 2年 王原 鋭強(下長中学校出身)

# ボウリングコース

2年 坂本 響亮(北稜中学校出身)

今回の講座で特に印象に残っているのは、プレーはもちろんボウリングの機械の裏方見学です。普段は見ることができないし、ピンがどのように立てられているか知ることができたからです。今まではピンを倒すことばかりに集中していましたが、裏側でたくさんの工夫や技術が使われているのを知り感心しました。これからボウリングをする時は、遊びとしてだけではなく、ボウリング場の仕組みや裏方の部分にも注目しながら楽しみたいと思います。



2年 塚合 佑多(階町立階中学校出身)

今回はボウリングに挑戦しました。講義では、初めて聞くボウリング用語もありました。今まで気にしたことはありませんでしたが、フールラインを踏んでしまうと点数にならないこと、自分に合ったボールの重さの調べ方など、たくさんのことを知ることができました。また、4歩助走の投げ方も教わりました。私にはこの投げ方が合っていて、とても投げやすかったです。午後は、皆でゲームをしました。前半は非常に調子が良く、ストライクとスペアを取ることもできました。しかし、後半は疲れが出たのか得点を伸ばすことができませんでした。私はサッカーをやっている、サッカーはよくメンタルスポーツと言われることがあります。今回やってみてボウリングもメンタルスポーツだと感じました。



## 【2年生合計順位】

- 1位 2年 長谷川航太(江東区立深川第四中学校出身)
- 2位 3年 田所 陽斗(相模原市立田中中学校出身)
- 3位 3年 二部 真斗(第一中学校出身)

# バッティングコース

3年 内澤 ひかり(嵯峨町立嵯峨中学校出身)

初めてバッティング体験をしました。以前は父や弟がやっているのを見ていただけでした。最初キロの打席に立ち、機械からボールが放たれた瞬間、想像以上の球の速さに体が固まりました。何球か空振りした後、ようやくバットに当たることができましたが、その衝撃の強さに驚きました。このことから改めてプロ野球選手の凄さを痛感しました。自分が驚いたキロよりもはるかに速い、キロ近い球を正確に打ち返す大谷選手のような現役のプレーヤーは、人間離れした能力と、計り知れない努力を積み重ねているのだと尊敬の念を抱きました。



3年 細越 優希(第一中学校出身)

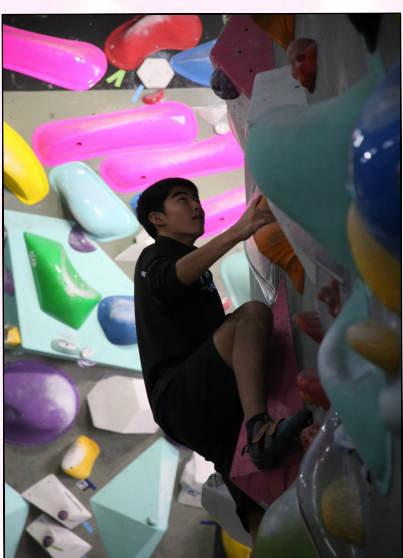
ほぼ人生で初のバッティングでしたが、思っていたよりも難しと感じました。なので、最初は当てることに専念し、慣れたら力強く振り抜くようにしました。しっかりと球をとらえた時の感触は、爽快感抜群で気持ち良かったです。キロの速球にはなかなか当たりませんでした。変化球は案外打ちやすかったです。また、ストラックアウトにも挑戦しました。的まで距離が遠く野球経験者でないと当てるものではないと思いました。やっていくうちに肩も痛くなり球威も落ちていきました。怪我をしていることもあり、あまり無理せずできる範囲で楽しむことができました。3年生は何事も最後になるので行事、講座、イベントを悔いなく楽しみたいと思います。



# ボルダリングコース

1年 石田 光(根城中学校出身)

初めてやってみました。ボルダリングはたくさんの技術が求められる競技だと知りました。自分が思っていたよりもずっと難しく、指が痛くてあまり登れませんでした。しかし、慣れてくるとたくさんさんのコースをクリアできました。それでも講師の方や友達は、レベルの高いコースを軽々と登っていて、自分もその域まで達したいと思いました。想像以上に疲れましたが、またプライベートでも行きたいです。



1年 島守 史恩(大館中学校出身)

今回、ボルダリングを体験しました。目の前の高い壁を見たときは、少し怖かったです。が、いざ登り始めると夢中になりました。最初は、腕の力ばかり使ってすぐ疲れてしまいましたが、講師の方に「足で体を支えることが大切」と教わり、コツをつかむことができました。途中で何度も落ちそうになりましたが、諦めずに挑戦を続け、最後まで登り切ったときは、大きな達成感がありました。この体験を通して、努力すればできることが増える実感することができました。これからも失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦していきたいです。

# トランポリンコース

1年 田端 ゆずは(長者中学校出身)

トランポリンをしっかりと体験するのは今回が初めてでした。とても楽しみにしていました。が、いざやってみると思いのほか難しく、バランスをとりながら跳ぶということが少し怖かったです。しかし、講師の先生が、跳び方のコツを分かりやすく教えて下さり、難しい技も頑張ろうと思いつつ積極的に取り組むことができました。級友と声を掛け合いながら、できない技があっても楽しむことができました。怪我なく講座を終えることができました。後片付けも率先して仕事を見つけて丁寧に行うことができました。初めてトランポリンに触れましたが、見ただけではわからないことがたくさんありました。最後に講師の方が演技を見せて下さいました。軽々とやっていました。努力をしてきたからこそその成果なのだろうと感じました。



2年 長畑 洗希(小中野中学校出身)

今年2回目のトランポリン体験でした。前はトランポリン専用施設での実施でしたが、今回は学校のトランポリンを使用しました。場所もトランポリンの感覚も違い、少し恐怖を感じました。しかし、技を練習するうちに少しずつ高く跳べるようになりました。

2年 高山 勝吏(湊中学校出身)

今回、トランポリンに挑戦し前宙を成功させることができました。最初、前宙は難しいと思っていましたが、講師の先生にアドバイスをいただいたながら回るコツをつかんでいきました。そのほか、腰落ちや腹落ちなど、いろいろな技をやりました。その中で私が得意だったのは、腰落ちです。腰落ちは意外と上手く跳ぶことができたし、その派生形もできたので良かったです。

